

報恩講日程



報恩講について



23日 (木)	13:30 (引続)	初逮夜 門徒法要 法話 中西 無量 氏
24日 (金)	7:00 13:30 (引続)	晨朝兼日中 逮夜 音楽法要 法話 中西 無量 氏
25日 (土)	7:00 13:30 (引続) 16:30 17:30	晨朝兼日中 中逮夜 法話 中西 無量 氏 おつとめ教室閉講式 初夜勤行・御伝鈔拝読
26日 (日)	7:00 13:30 (引続)	晨朝兼日中 逮夜 法話 藤井 慈等 氏
27日 (月)	7:00 10:00 12:00 14:00 (引続)	晨朝兼日中 小林憲明氏講演会 帰敬式 結願逮夜 信悟院鍵役御参修 法話 藤井 慈等 氏
28日 (火)	7:00 7:50 9:30 10:30	結願晨朝 法話 藤井 慈等 氏 法話 藤井 慈等 氏 結願日中 信悟院鍵役御参修 (12時頃終了予定)

◇講師紹介

23日～25日 **中西 無量 氏** (福岡県 西岸寺)
講題「としごろ念仏して往生をねがうしるし ー浄土真宗の“とむらい” (供養) ー」

26日～28日 **藤井 慈等 氏** (三重県 慶法寺)
講題「『愚禿』を名のった親鸞の課題」

報恩講参詣のご案内

報恩講とは、宗祖親鸞聖人の御祥月命日に勤められる法要で、真宗門徒にとっては一年でもっとも大切な仏事として勤められてきました。

私たちが生きていくうえには親の恩や師の恩など、いろいろなご恩があります。それぞれ大切なことですが、報恩講の「恩」とは、なにより親鸞聖人がいただかれた念仏の教えに遇い、自らが生きる依り処を教えていただいたご恩のことです。

そのご恩を報謝し、共に念仏申す身となっていくことを誓うことが報恩講の大切な意味です。「真宗門徒の一年は報恩講に始まり、報恩講に終わる」と言われます。是非この機会にご参詣、ご懇念いただきますようお願い申し上げます。

音楽法要

札幌別院では毎年報恩講に音楽法要をお勤めしております。崇敬区域の御寺院の合唱団の方々や、学生 みなさんにもご協力頂き、大変華やかな法要となっております。

門徒法要

門徒法要とは普段の法要では僧侶が勤める導師や鑿役、巡讃といった法要中の役割をご門徒が中心となって担って頂きお勤めする法要です。

御伝鈔

『御伝鈔』は正式には『本願寺聖人伝絵』といい、親鸞聖人の曾孫である、本願寺第三代の覚如上人が撰述された絵巻物です。宗祖親鸞聖人の伝記として最初のものであり、親鸞聖人の御生涯を感銘深いエピソードを交えて後世に伝えています。

小林憲明氏 ダキシメルオモイ展

小林憲明氏は東日本大震災をきっかけに「ダキシメルオモイプロジェクト」として親が子を抱きしめる姿を描き続け、家族の愛とオモイを伝え続ける展示を全国で展開しています。今回報恩講期間中に別院に小林氏の絵画を展示するとともに、27日の午前10時より小林氏による講演会も行います。

【小林憲明 氏 プロフィール】

1974年 新潟県出身、15歳の時、レンブラントの絵画に憧れ画家の道に。

2000年名古屋芸術大学 美術学部絵画科 研究生修了。

2006年 結婚から家族をモデルに家族をテーマに描き始める。

2012年 東日本大震災を機にダキシメルオモイ プロジェクトを始動。

